



おおみや トピックス



市HP内掲載記事へ

大宮町の人口	年齢	R2.7末(前月比)
	0歳～14歳	1,299人(-4)
	15歳～64歳	5,774人(+5)
	65歳～	3,041人(0)
	合計	10,114人(+1)

大宮町区長協議会

京丹後市長と懇談

8月6日、『大宮町区長協議会』が開催され、関係者を含め計21名が出席しました。大宮町区長協議会は、町内の全16区長で構成され、区長相互の親睦を図り、市政事務の円滑な運営と自治の振興発展を図ることを目的としています。今回の総会では、中山市長との懇談がなされました。市長からは主に市政についての説明が、同協議会からは、昨年度提言した

左記の内容が紹介されました。出席された区長からは「大宮町にも様々な課題がある中で、それらを市長と共有していくことはとても重要なことだ」「市長もお忙しいと思うが、今後もこのような機会を作り、各区の想いを直接市長に伝えていきたい」などの意見がありました。

昨年度の提言内容

- ◇自然災害の備え
地区避難所の設置が困難な公民館の土砂災害警戒区域指定の解除工事の実施、市が開設する避難所での訓練の実施
- ◇『京丹後市大宮町地域会議(仮称)』事務局設置に向けた支援
高齢化や人口減少、地域課題の多様化に対応するための広域連携組織設置に向けた支援の要請
- ◇山陰近畿自動車道京丹後大宮 ICフルインター化実現
緊急医療体制の充実、災害時の道路網の確保、産業、地域振興、利便性を考慮したうえでの提言
- ◇通学路の安全な整備 など

大宮町区長協議会役員紹介

会 長	川口勝彦	奥大野区
副会長	西村 忍	河 辺 区
会 計	藤井安行	三 坂 区
監 事	谷口富夫	森 本 区
監 事	安達和彦	久 住 区



中山市長との懇談の様子です

大宮南地域里力再生協議会

「生活支援コミュニティプラットフォーム」開発プロジェクト

大宮町の奥大野・上常吉・下常吉・谷内・三坂の5区からなる大宮南地域里力再生協議会では、令和元年度より独居高齢者を中心とした見守り体制などの課題を解決することを目的に、ICT※を用いた生活支援システムを構築する事業が始まっています。これは、人が生活するうえで最も大切

な事は「人と人とのつながり」という当協議会の考えのもと進められているもので、これまで地域の「つながりマップ」の作成、共助・協働を活発にして暮らしを豊かにする方法の構想、日常生活の困りごとやそれらを軽減するためのアイデアを出し、コミュニケーションツールの使用テストを行ってきました。

返りや、今後の事業の進め方について議論が行われました。参加者からは「この活動を通じて、地域のつながりの力を高め、誰もが安心して暮らせる地域を目指したい」と仰っていました。今後は月に1回のペースで継続して行われるので、今後の展開が期待されます。



市外の方もオンラインで参加されました

※ICTとは?

「情報通信技術」を指し、通信技術を活用した人と人とが繋がる技術のこと

口大野麵打ち倶楽部 耕作放棄地を利用した蕎麦栽培

口大野区内では、後継者不足等が原因で農業従事者が減少し、耕作放棄地が多く見られ、区内の農業意識が低下しているという問題を抱えています。これらの課題解決に向けて、1人でも多くの区民が放棄地の現状について考え、さらに地域内での交流を持つことを目的に活動されているグループが『口大野麵打ち倶楽部』です。会員数は40名を超え、30代から80代という幅広い世代の区民で構成されています。昨年度より耕作放棄地を利用した蕎麦の栽培を始めました。



8月22日、『そば畑』（区内の耕作放棄地）に同グループから15名が参加し、蕎麦の種まきを実施しました。今後もより多くの人を引き込んで活動されます。活動については口大野区へお問合せください。

口大野区
☎ : 0772-64-2137 (担当 : 松本)



大宮に来ると「ほっと」します

大木 史帆隊員（地域おこし協力隊）

京丹後市地域おこし協力隊として丹後町で活躍中の大木史帆隊員は、大宮町下常吉出身です。今回は、7月30日に開催した『大宮町女性グループ交流会』にも出席し、大宮町とも深く関わられている大木隊員を紹介します。

地域おこし協力隊着任までの経緯

元々自分の店を持つことが夢で、着任前は大阪の飲食店で働いていました。そこは丹後の食材やお酒を扱っており、お客様に丹後の魅力を伝えていました。その一方で、丹後では空家を探していましたが、良い物件に巡り合えず、もともと地域に入らないとダメなのかなと思っていた時、協力隊の募集を聞き、Uターンしました。

現在の主な活動内容

宇川加工所に所属し、丹後町にはどんな食材があるのか？どんなものが市外にアピールできるのか？日々研究しています。

「大宮町女性グループ交流会」に出席して

どのグループもできる範囲での活動を頑張ってもらっているなという印象でした。大宮町には多くの団体があるので、皆さんで集まりそれぞれができることを出し合えば、大きな力、大きな形になると思います。

大宮町の良いところ、自慢

生まれ育った場所なので、大宮に来ると「ほっと」し、山に癒されます。美味しい水や米、綺麗な星など、自慢できるところは多くあります。丹後町からは少し距離がありますが、よく常吉には帰っています。町外から来てくれた人には、大宮町の人や場所も案内したいと思っています。

大宮町の課題

地元の人達がもっと環境に触れる場所が身近にあればいいと思います。田舎にいるのに田舎生活ができていないように感じます。

大木満和さん(常吉村営百貨店へ設立者)を父に持つ大木隊員。開店当時のことについて…

当時私は大阪で働いていたので父と活動について話したことは少ないんです。たまに会う時の雰囲気から、簡単なことではないんだなという事は伝わっていました。私が丹後でお店をしたいという「大変だぞ」と言っていました。

その当時はわかりませんでした。父がやっていたことは相当大変なことだったんだと、今は身をもって体感しています。

最後に一言

京丹後市内の加工グループで合同イベントができたなら楽しそうですね。私は空き家を改装中で、景色を見る観光だけでなく、地域に溶け込んだ体験観光みたいな場所にしていきたいと思っています。



輝く人～大宮町から